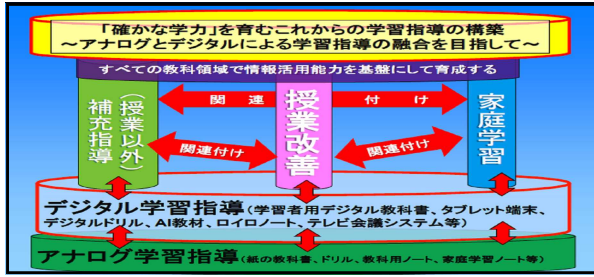


令和5年度 学力向上全体構想

鹿児島市立星峯西小学校



【アナログ学習指導とデジタル学習指導の融合】

- ・ 日々の授業実践とその共有
- ・ 実践的な職員研修による指導力の向上
- ・ 学力向上委員会
- ・ 経験則とデータに基づいた学習指導
- ・ 家庭教育力アップ共通実践事項

実態把握・分析・対策, 「分かる・できる・考える」授業改善, 「基礎的・基本的な知識・技能」の定着, 家庭・地域との連携

I 実態把握・分析に基づく具体策の設定と実践	II 「確かな学力」を育成する授業の創造と指導力の向上	III 「基礎的・基本的な知識・技能」の徹底
-------------------------------	------------------------------------	-------------------------------

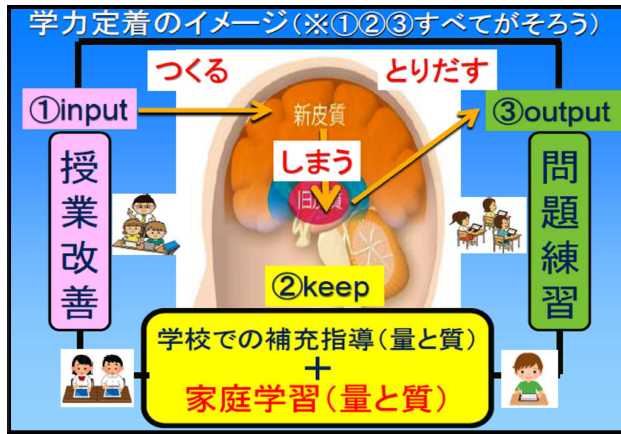
- 1 各種検査の実施・事後指導**
- (1) 知能検査・学力検査
 - 相関分析・経年比較
 - アシストシートの活用
 - ★SS54
 - ★アンダーアチバー0
 - (2) 各種テスト
 - 漢字力テスト ★90%
 - 単元末テスト ★85%
 - 学期末テスト ★80%
 - (3) 鹿児島学習定着度調査
 - 対策・分析・補充
 - ★市・県平均
 - (4) 全国学力・学習状況調査
 - 対策・分析・補充
 - ★市・県・全国平均

IV 職員研修の充実

- 1 テーマ研修**
- (1) 研究主題
アナログとデジタルを融合した学習指導を目指して
 - (2) 内容
GIGAスクール構想に基づき、一人一台端末を活用した取組
 - (3) 方法
 - 各実践を集約・共有
 - 研究授業
 - ・ 6月26日(月)
 - ・ 10月16日(月)
 - ・ ワークショップ型による授業研究会
- ※ 場合によっては、初任者研修・ステップアップ研修・パワーアップ研修・調査研究協力員授業などと兼ねることもある。
- 2 一般研修**
- (1) 教科等研修
 - 絵画・作文等
 - (2) その他
 - 生徒指導・保健・人権
 - 同和教育・服務規律・救急救命・不審者対応研修
- 3 個人研修**

- 1 授業改善のポイント**
- (1) 目標の明確化と学習課題の工夫
 - (2) 見通しと振り返りの活動の重視
 - (3) 主体的・協働的な学習活動の工夫
(「学びの羅針盤」より)
- 2 分かる授業の条件**
- (1) 教材分析・研究の徹底
 - (2) 定着の把握と補充指導
 - (3) 反復学習の徹底
 - (4) 教材・教具の工夫
 - (5) 個別最適な学習と協働的な学習の工夫
- 3 星西ベーシックの推進**
- (1) 学習問題の設定
 - (2) 予想・見通し・解決方法の設定
 - (3) 主体的・対話的で深い学びを実現するための学習活動・形態・場の工夫
 - (4) 教材・教具の工夫
 - (5) 指示・発問の工夫
 - (6) 構造的な板書の工夫
- 4 指導と評価の一体化**
- (1) 評価規準の設定
 - (2) 評価方法の工夫
 - (3) 授業改善
- 5 指導体制・方法の工夫**
- (1) 専門性のある専科指導
 - (2) 少人数(3学級4展開)によるきめ細やかな指導
 - (3) 一人一台端末の活用
 - (4) デジタルドリルの活用
- 6 学業指導の充実**
- (1) 学級経営の充実
 - 受容的な雰囲気
 - 自己有用感
 - (2) 学習のしつけ・環境整備
 - 正しい姿勢(座り方)
 - 言葉のルール(話型)
 - ユニバーサルデザイン
- 7 五感を通じた学びの推進**
- (1) 具体物操作→念頭操作
 - (2) 体験活動

- 1 読む力の育成**
- (1) 言語活動の充実を通じた言葉による見方・考え方を働かせた読みの指導
 - 時間, 主語と述語, 様子, 理由
 - 内容と形式
 - (2) 音読・朗読指導の充実
 - 方法と形態の工夫
 - (3) 場の設定
 - 読書タイム(週2回)
 - 音読放送(低・中・高)
 - うちどく(毎月23日)
 - 読書週間(毎学期)
 - 読書まつり(5月)
 - (4) 学校図書館の活用
 - 年間目標冊数の設定
 - ★低: 100冊
 - ★中: 80冊
 - ★高: 60冊
 - 「読書センター」「学習・情報センター」としての機能の充実
- 2 書く力の育成**
- (1) 漢字・言語事項の指導
 - アナログドリル
 - デジタルドリル
 - 学期末漢字力テスト
 - 家庭学習ノート
 - ・ 漢字・ローマ字・短文づくり・視写
- 3 ベーシックタイム・パワーアップタイムの運用**
- (1) 知識・技能(定義・計算力)の定着・向上
 - (2) 複数体制での指導
 - (3) デジタルドリルを活用した個別最適な学習
- V 家庭・地域との連携**
- 1 家庭教育共通実践事項**
- ノーメディアタイム
 - 早寝早起き朝ご飯
- 2 家庭学習の手引き**
- 3 家庭学習ノート**
- 4 学校支援ボランティア**



アナログ学習とデジタル学習の重点の置き方(目安)

アナログとデジタルのバランス(目安)	【低学年】 1年生 2年生		【中学年】 3年生 4年生		【高学年】 5年生 6年生	
	デジタル学習指導	2	4	6	8	
アナログ学習指導	8	6	4	2		
タブレット端末の活用程度・家庭への持ち帰り	学校で慣れ親しみ・使う 家庭への持ち帰り不可		学校・家庭で使いこなす 家庭への持ち帰り可			

- 1 教科指導の質と量：教材分析・研究の時間確保，指導時間の位置付けと指導方法の工夫
- 2 全校一体となった組織的な取組：チーム星西としての共通理解と共通実践
- 3 家庭学習の質と量：個に応じた家庭学習の手立てと家庭教育力向上の取組

